

もっと知りたい

武者小路実篤

さね あつ
実篤は
び じゅつ
美術コレクター!?

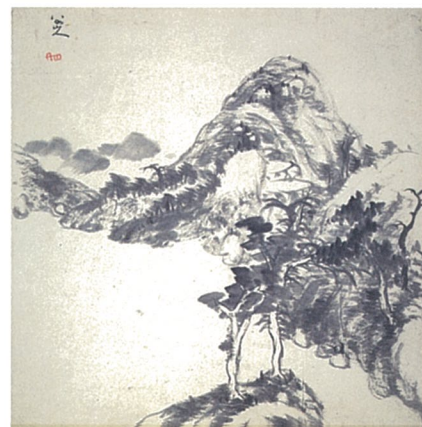
作者と心を通わせる

1600年代・中国

はちだいさんじん
八大山人



なんとまあ。
すてきな形、すてきな色！
絵に描きましょう。

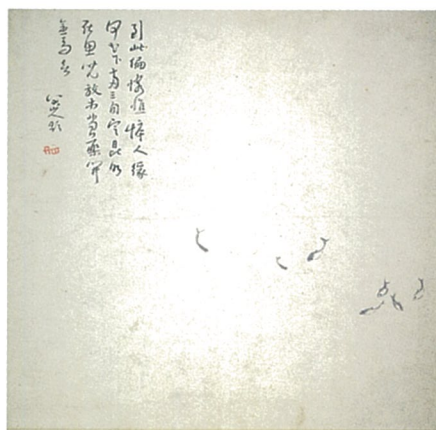


さんすい
山水



ぶどう
葡萄と鳥

八大山人画冊 八大山人
中国 明代後半—清代初期 (1600年代後半—1700年代初め)
紙本墨画



小魚

ああ、形や色に感動しながら
描いたんだろうな。絵を見ると、
これを描いた時の作者の気持ちが
直に感じられるぞ！

1900年代・日本

実篤



実篤は、作者が心をこめて作りあげた作品を見ることで、何十年、何百年という時間や言葉の壁を超えて、作者と同じ気持ちになれることに喜びを感じました。

天上の四神は協力して
此処を先途と

地上の一人の旅人を
やつつけている

だが旅人は
負けてはいない

全身に力を入れて
一足一足力強く歩いている。

もう一息だ、

そう言って稲妻は
皆を激励した、

雷神は夢中に太鼓をたたき
風神は、風袋からあるつたけの風を
旅人にあびせ。

雨の神の竜も負けてはいない、
だが旅人もまけてはいなかった。

「もう一息だ」

そう稲妻は言ったが
彼女は旅人の勇ましい姿に

見とれているようだ。
もしかしたらこの男

本物かも知れないぞ、
彼女はそう思い、

ためしてやれ
鍛えてやれ

彼女はそう思った。

旅人は何にも知らぬ、
だが負けてはいなかった。

彼は本当に強い男だった。



ふうじん 風神

手に持った袋から風をだし
て、旅人にビュービューと
吹きかけています。稲妻の
神に顔をむけて、見とれて
いるようです。



うじん 雨神

雨の神は竜の姿をしていま
す。墨で描いた黒い点々で、
強い雨が表現されています。



「雷図」 雪舟の作品と伝わる
日本 室町時代(1400年代後半-1500年代初め)か
紙本墨画淡彩



らいじん 雷神

いくつもの太鼓を両手で打
ち、ゴロゴロと雷鳴を轟か
せています。



いなずま 稲妻の神

女性の神様。両手に丸い鏡
を持っています。鏡から鏡へ
ビビビッと稲妻の光をだし
ています。



旅人

海のすぐそばにある道を歩いています。両方の手
でしっかり傘を持って、雨と風に負けないように耐
えています。



美術品を見ると、作品を通じて作者に
会っている気がするんだ。
そして、心の中で握手するのだよ。